

## [成果情報名]ナス黒点根腐病の防除法

[要約]ナス黒点根腐病に対しては、台木の「トナシム」、「トルバム・ビガー」および「トレロ」で発病が少なく、土壌くん蒸剤および蒸気による土壌消毒、アゾキシストロビン水和剤およびフルジオキシニル水和剤による土壌灌注処理の防除効果が認められる。

[キーワード]ナス黒点根腐病、台木の感受性、土壌くん蒸剤、蒸気土壌消毒、土壌灌注処理

[研究所名]高知農技セ・生産環境課・病理担当

[代表連絡先]電話 088-863-4915

[区分]近畿中国四国農業・生産環境（病虫害）

[分類]技術・参考

---

## [背景・ねらい]

2006年に高知県内の米ナスで原因不明の萎凋症状が発生し、原因究明の結果、既報の黒点根腐病（*Colletotrichum coccodes*）であることが明らかとなっている。しかし、本病についてはこれまで詳しい研究事例がなく、有効な防除対策も明らかでなかったことから、早急に本病の防除対策を講じ、既発圃場の被害を軽減するとともに、被害の拡大を未然に防ぐ必要がある。

そこで、ナス黒点根腐病に対するナス台木品種の感受性、土壌消毒および土壌灌注剤の効果について検討する。

## [成果の内容・特徴]

1. 台木に「トナシム」、「トルバム・ビガー」または「トレロ」を用いると、ナス黒点根腐病はほとんど発生しない（図1）。
2. ナス黒点根腐病に対しては、土壌くん蒸剤のクロルピクリン、ダズメット、D-D、メチルイソチオシアネート・D-D およびクロルピクリン・D-D、ならびに蒸気土壌消毒の防除効果が認められる（表1）。
3. アゾキシストロビン水和剤の2,000倍、フルジオキシニル水和剤の1,000倍および2,000倍は、いずれも3L/m<sup>2</sup>の土壌灌注処理でナス黒点根腐病に対する防除効果が認められる（図2）。

## [成果の活用面・留意点]

1. 「トナシム」、「トルバム・ビガー」および「トレロ」は、いずれも青枯病菌のIV群菌に対して感受性であるので、青枯病発生の恐れがある圃場で使用する場合には、青枯病に対して効果がある防除法も併用する。
2. 土壌くん蒸剤は、いずれもナスの青枯病、センチュウ類などに登録されているが、ナス黒点根腐病に対する農薬登録はない。
3. 蒸気土壌消毒は、キャンバスホース式、地下20cmの目標地温60℃とし、できるだけ地温を上昇させやすくするための諸条件（竹内・川田、2006、四国植防41:25-31）にも注意する。
4. 土壌灌注剤は、いずれもナスの土壌灌注剤として農薬登録されていない。

[具体的データ]

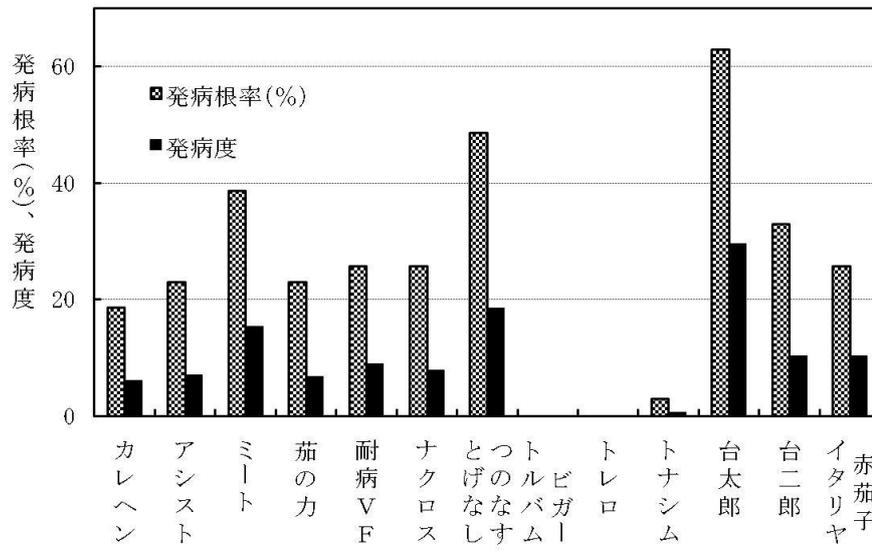


図1 ナス黒点根腐病菌汚染圃場に植えた各種ナス台木品種の感受性

発病根率 (%) = (褐変した根の本数 / 調査した根の本数) × 100

発病度 = Σ (発病指数 × 指数別根数) / (調査根数 × 4) × 100

- 発病指数 0: 根の褐変なし、 1: 5%未満の根が褐変、  
 2: 5~25%未満の根が褐変、 3: 25~50%未満の根が褐変、  
 4: 50%以上の根が褐変

表1 ナス黒点根腐病に対する土壌くん蒸剤および蒸気土壌消毒の効果<sup>a)</sup>

土壌消毒の方法	処理量	防除価 <sup>b)</sup>		
		試験1	試験2	試験3
クロルピクリン	3ml/穴	51.4	89.1	nt <sup>c)</sup>
ダゾメット	30kg/10a	76.4	nt	nt
D-D	2ml/穴	51.4	nt	nt
メチルイソチオシアネート・D-D	3ml/穴	nt	85.5	95.1
クロルピクリン・D-D	3ml/穴	nt	85.1	96.7
蒸気消毒 <sup>d)</sup>	—	nt	nt	80.4
無処理の発病度 <sup>e)</sup>	—	22.0	17.4	18.4

a) 試験にはナス台木品種「台太郎」を用いた。

b) 防除価 = 100 - (処理区の発病度 / 無処理区の発病度) × 100

c) 試験を実施しなかった。

d) 蒸気消毒はキャンパスホース方式によって実施し、深さ20cmの地温が60℃以上に達するまで1~1.5時間蒸気を注入した。

e) 発病度の算出方法は図1の脚注を参照。

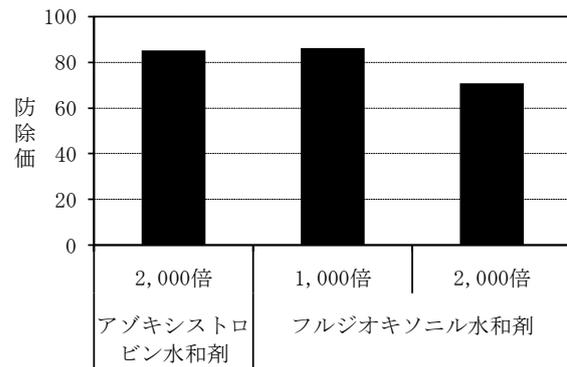


図2 ナス黒点根腐病に対する薬剤の土壌灌注処理の効果<sup>a)</sup>

a) 試験にはナス台木品種「台太郎」を用い、定植1日後、18日後および33日後に3L/m<sup>2</sup>の割合で土壌灌注処理した。防除価の算出方法は表1の脚注を参照。無処理の発病度は59.7、発病度の算出方法は図1の脚注を参照。

(矢野和孝)

[その他]

研究課題名：ナス黒点根腐病の防除技術開発

予算区分：県単

研究期間：2008~2010年度

研究担当者：矢野和孝

発表論文等：矢野ら (2012) 高知農技セ研報、21:1-6